◆2025年1月の新刊

日本キリスト教団出版局

聖書における和解の思想

左近 豐

編

1968年、東京生まれ。東京神学大学大学院修了、米国コロンビア神学大学院修了(Th.M.)、プリンストン神学大学院博士課程修了(Ph.D.)。旧約聖書学専攻。現在、青山学院大学国際政治経済学部宗教主任・教授。日本基督教団美竹教会牧師。

現代世界の最重要課題について、聖書は何を語るか?

異なる価値観をもつ人々が、いかにして「和解」による対話と共存の可能性を探りうるのか。共同体の危機のさなかで編まれた旧新約聖書は、この課題にどのように取り組んでいるか。七人の気鋭の神学者・聖書学者が集い、聖書における「和解」の思想を論じ尽くす意欲作。

A5判・上製・352頁・定価4,400円(本体4,000円+税) ISBN978-4-8184-1185-2 C3016

第1部 神学の見地から

第1章 聖書的和解の神学的位置づけ

――キリストを通し天と地をつなぐ生き方……藤原淳賀

第2部 旧約聖書学の見地から

第2章 旧約聖書における「和解」序説……左近 豊

第3章 W.ブルッゲマン教授に聞く 「和解」とは何か?

第4章 律法における「和解 | ――創世記20章を手掛かりに……藤田潤一郎

第5章 預言書と諸書における「和解」……左近 豊

第6章 研究ノート 旧約聖書における「和解」の語彙に関する試論……左近 豊



第3部 新約聖書学の見地から

第7章 神による「愛敵」としての和解

――パウロの和解理解をめぐる聖書神学的考察

……河野克也

第8章 パウロの「和解」主題……浅野淳博

第9章 誰と誰の和解か?

――パウロ的「和解」概念の発展と継承……辻 学

第10章 福音書における「和解」……大宮 謙

第11章 パウロの「和解」理解の継承と課題……河野克也

おわりに 聖書的和解のために……藤原淳賀